

より参加しやすい団体の特徴

- ・参加者の声が運営側に届く
- ・自分で決められる
- ・参加して楽しい
- ・参加して良かった
- ・多様なかわり方
- ・同じ人ばかりではない
- ・気軽な参加形態
- ・強制しない
- ・PRが魅力的



- ・興味をもって声をかけてくれる人が増えた
- ・会を代表して意見を言う機会が増えた
- ・活動団体間でのネットワークが広がった



- ・地域のことに関わろうとする市民が増え、市民の意見が市政に反映される住みやすい街になる



イラスト：田口 桃代©

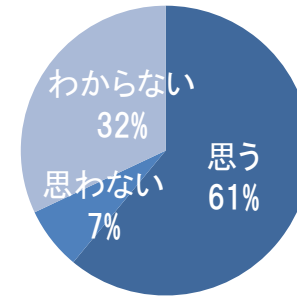
地域活動「団体運営」のポイントガイド

～『気づき』と『きっかけ』の仕掛けづくり～

～市民が地域のことに関わろうとするまち多摩の実現に向けて～
第六期多摩市自治推進委員会報告書別冊

＊平成29年実施の「地域活動に関する市民参画アンケート」及び「自治会・町会及び市民活動団体へのアンケート」結果より抜粋（詳細は報告書巻末資料編参照）

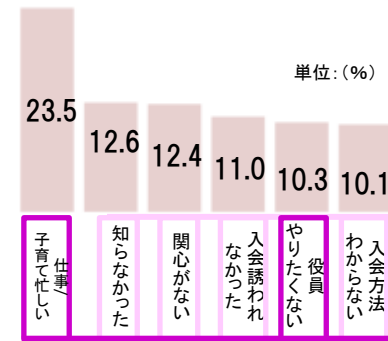
Q1)参加してみて、活動が人や地域のつながりに寄与していると思うか



知り合いが増えた
やりがいを感じた



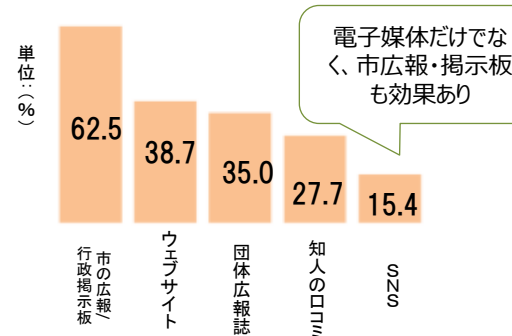
Q2)一方、参加しない理由は？



情報発信
団体運営

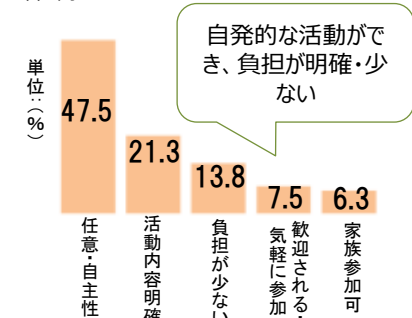
の課題

Q3)市民の情報収集方法は？



電子媒体だけでなく、市広報・掲示板も効果あり

Q4)望ましい活動体制や受け入れ体制は？



自発的な活動ができ、負担が明確・少ない

「団体運営」ポイントは？

～情報発信と団体運営の工夫～



参加者のステップ

STEP 01 知る、気づく

活動に「気づく」。
活動内容に関心をもつ。

STEP 02 試しに参加する

活動場所に訪れる。
イベントに参加する。

STEP 03 継続的に参加する

活動が楽しい。
友達を誘う。

STEP 04 運営に携わる

意思決定にかかわる。
運営に対する意見を言う。
団体の運営に関与する。

運営側の工夫



情報発信

活動対象となる市民に届く情報発信ができていますか

- ニーズを調査していますか？
- 情報発信のターゲットは明確ですか？
- 紙のチラシとSNSを使い分けていますか？



情報発信

参加しやすい「きっかけ」をつくっていますか

- 注目や興味を喚起する情報発信ができていますか？
- 活動の内容は明確になっていますか？
- 気軽に参加できる雰囲気作りができていますか？



団体運営

関わりやすい活動になっていますか

- 内輪な活動や会話になっていませんか？
- 役員や役割を強制していませんか？
- 負担が誰かに集中していませんか？



団体運営

活動の担い手が増え、
地域活動が活発になる